

ハッジ 人生一大の旅（1/2）：アラファの日とその

5.0

明:ニイマ イスマ イル ナウワ ブ (M アブドッサラ ムによる 集)

目:[事崇 行 とその 実践の五ヶ条」 とその他の崇 行](#)

より: Nimah Ismail Nawwab (edited by M. Abdulsalam)

📅 1 Jun 2010

📅 26 Jun 2023



人の5分の1が皆、共通の望を抱いていることがあります。それは人生で最低でも一度、???と呼ばれる精神的な旅を行なうことです。第一部: ???の 介、そして??
で に行なわれる 礼について。

???
、もしくはマッカへの大巡礼は、その起源を 言者アブラハムにまで辿る、イスラ ムの
中心的 行 であり、それはあらゆる人 と言 からなるムスリムたちを一同に集める、最も
感 的かつ精神的な です。

14世 にも渡り、地球の隅々から数えきれない程のムスリム男女が、イスラ ム 祥の地で
あるマッカへの巡礼を行なって来ました。この を遂行するにあたって、彼らはイスラ

の礼を自ら指しています。彼は二通りの方法でそれを行ないました：自らの 践によるもの、そして彼の教友たちの 践を 可することによるものです。これによって 礼には多少の さがもたらされましたが、同 に巡礼者たちにとって有益となる、 践における柔 性を提供したのです。例えば 数の 礼では、その 番に して 化をつけることが合法とされていますが、それは 言者自身がそのような行 を 可したことが されているからです。 っ、???

礼は であり多数、かつ 化に富んでいるのです。そういった 面の一部を以下に げていきます。

マッカへのハッジは、 力の す限り、成人男女にとって一生に一度は果たさなければならぬ 行 であり、クルア ンの章句によれば、“そこにたどり着くことの出来る者たち”に されたものです。未成年者にとっては となりませんが、 には と共にやって来る子供たちもいます。



出 前、巡礼者はこれまでの全ての不正を修

し、 を完 し、自分自身の旅のため、そして に残す家族を うに十分な 金を蓄えた上で、???)を通して良い振る舞いが出来るように しなければなりません。

巡礼者たちが???)

の旅に出る 、彼らはそれ以前の何百万人もの人々の みを辿ることになります。昨今では70ヶ国以上からの信仰者たちが、 路、海路、空路から 年大 して押し寄せ、 去に比べればずっと早く わり、比 的困 ではなくなった旅を完遂させます。

19世までは、マッカへの 距 の旅は通常キャラバンに加わることを意味していました。主要だった三つのキャラバンは：カイロで 成されるエジプトのもの；バグダッドから出したイラクのもの；そして（1453年以降はイスタンブ ルからの出 だった）シリアからのものであり、旅路の途中においても巡礼者たちを集め、ダマスカスからマッカへと旅立ったのです。

???

の旅は、 に行っても数ヶ月 は必要とされたため、巡礼者たちは旅路を り越えるに十分な を携えていました。キャラバンでは必需品が入念に され、安全 策もとられていましたが、それは旅行者が裕福な 合に限られていました。一方 しい者たちはたびたび食 を切らしてしまうことがあったため、旅を一旦中止して き、その稼ぎを蓄えてから旅路を再 しなければなりませんでした。こうした理由によって、一部のケ スでは十年以上もの期 に渡る旅となったのです。当 の旅には数々の冒 （危 ）が伴ったものです。公道はしばしば盗 による の恐れがある危 な 所でした。巡礼者たちの通る道筋も、自然 害や病 などによる危 に晒されており、旅路では多くの人々が命を落としたものです。それゆえ巡礼者たちによる 事の は、その家族にとって喜びに ち溢れた、感 すべき出来事となったのです。

マッカのマディ ナの神秘性に惹かれた西洋人たちは、その多くが15世 以来、巡礼の行なわれる二大 地を れています。彼らの一部はムスリムに 装して、また一部は本心から改宗してその を果たしました。しかし彼らは皆、例外なくその によって心を かされ、多くの者がその旅の印象、または??? 礼を魅惑的な 述で しているのでは？

旅行 は数多く存在し、巡礼者たちの出身地ほどの多 言 で されています。

巡礼は 年、ムスリムの 用する太 の12月である、ズル＝ヒッジャ月の8日から13日までの行なわれます。そこでの最初の 礼は????の状 に入ることです。

男性によって着用される?????

とは、白く ぎ目のない二枚の布またはタオルによって 成される衣装であり、その内の一枚は腰から膝 までの下半身を覆い、もう一枚は肩の上に けられます。これは、アブラハムとムハンマドの双方によってされていた身なりなのです。女性に しては、彼女

に身を捧げ、感情的に高まる面となります。多くの人々は神の赦しを乞い、します。この地において、彼らは慈悲深き神の存在とその近さを肌で感じ、宗教的人生の最高潮を迎えるのです。

英国人女性として最初に???

を行なった、イヴリン カボールド女侯爵は、巡礼者としてアラファの地で感じたことを1934年にしています：

“そこでの烈な光景を表するには魔法のペンが必要ですが、人の集合体において、私はたった一つのちっぽけな人であることを痛感し、宗教的情の中において完全に周を失っていました。多くの巡礼者たちのにはがつたっており、またある者は、この情景を去数世に渡って何度も目して来たであろう星のきらめく夜空を仰いでいました。きにちた目、烈な、礼で差し伸ばされる虚な手は、かつてなかった程に私を感させ、い精神的高の波へと私をみみしました。私は崇高な行である、至高者の意志への完全なる服、すなわちイスラムにより、巡礼者たち全体と一体化したのです。”

彼女は巡礼者たちがアラファに立つに感じる、言者への敬をこのように表しています：

“花岩で出来た柱のに立つと、地に着いたのだという感が沸きました。私はする群を通し、1300年以上も前に言者が最の教を行なっているのを心の目でたがしました。私はここにがる平野において、多くの教たちが数えきれない程の群を相手にすのを心に思い浮かべました。これこそが大巡礼における点なのです。”

言者は、アラファに集まる巡礼者たちの罪が赦されるよう祈し、それが神にめられたということが告されています。それゆえに巡礼者たちは、この平野での礼をえることの出来るよう喜々として取りみ、罪なく生まれ変わったような状態で、希望にちた新たな人生の一を始めます。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/468>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。